

TAKANO GROUP
高野不動産グループ

不動産事業
グループの核として、信頼の和を育む

高野不動産株式会社
本社：長岡市柏町1丁目4番33号 TEL.0258-33-7727
新潟支店：新潟市中央区新和1丁目5番2号 TEL.025-285-2851
長岡支店：長岡市柏町1丁目4番33号 TEL.0258-34-7111
長岡駅前支店：長岡市大手通1丁目4番地15 TEL.0258-33-7717
東京支店：東京都千代田区豊が関3丁目2番5号 TEL.03-4334-8112

住宅・建築・設計事業
信頼と安心の家づくり

高野ホームズ
高野不動産一級建築士事務所
本社：長岡市柏町1丁目4番33号 TEL.0258-33-7711

レジャー企画事業
心の満足、遊び心を創造

株式会社 Ritz 企画
本社：長岡市柏町1丁目4番33号 TEL.0258-33-7720

多彩なお風呂と料理が自慢。ココロも体もリフレッシュ。

ゆりや
長岡市川崎町1497番地4 TEL.0258-31-5526

ゆりや 湯
長岡市塚町6番地1 TEL.0258-27-0268

飲食事業

baskin BR Robbins
サティンアイスクリーム
リップス長岡川崎店
長岡市川崎町1436番地5 TEL.0258-36-7131

総合デザイン事業
センスあふれる空間をトータルに演出

TOM 企画・設計・施工
株式会社 **フラスポートム**
本社：長岡市柏町1丁目5番16号 TEL.0258-31-7106
TOM企画設計事務所

で今の新しい最適な医療を提
供できるようにあります。主治
医制をとらず、全員で診ていく
ということですが、(同)

22年春に開院の「エール長
岡クリニック」では、診療時間
を朝9時から夜9時までの12
時間とする予定だという。

「仕事を休んで受診しなくて済
みます。例えばワクチン接種
なども12時間のうちで、どこで
もできるようにします。学会

などで糖尿病や高血圧なども
早期に受診するようにと言っ
ていますが、現実には働いている
人たちが受診できる時間がほ
んどないわけです。それを実
際に実行できる体制にするの
が、私たちの考えです」(同)

こうした医師同士が連携した
シナジー診療、働く患者側に
寄り添った診療時間といった体
制のクリニックは、意外なこと
に今まで国内になかったという。

「医療は恋愛や青春と同じ」

医療法人メディカルビットバ
レー(MBV)では前出のクリ
ニック事業やAI開発・商品
などにも取り組むという。

「この医療法人はまったく血縁
関係がなく、みんなが友だち
関係なんです。そうした意味
で、しっかりと次の世代に渡し
ていかなければならないとい
う大前提があります。そのため
には様々な人材を育てていかな
ければなりませんし、医療で
すから自分たちのところで医
師も育てていかなければなら
ないと考えています」

(理事長の澁谷裕之医師)

MBVのクリニックでは小児
科や皮膚科といった診療科を
開設している。

「小児科や皮膚科は女性の医師
が多いんです。今、女性の医師
は全体の3分の1を超えるく
らいまで増えています。新潟大
学ではおよそ半分です。女
性の医師が結婚、出産した場
合、専門医を維持できなくなっ
てしまいます。医師の世界は男
社会でもありますからね。」

国公立大学で医師を養成す
るため、国が出す費用は学生
一人当たりで1億円とも言われ
ています。それが失われる、あ
るいは捨てさせるような事態
は無駄としか言いようがあり
ません。女性の医師が活躍し
ていただけるような環境をつ
くっていくことも人材育成だと
思っています」(同)

MBVの理事長である澁谷
裕之医師は「世の中の興味と

し、なるほどと思ってくれる
んです。

もともと医師はなりたない職
業の1位、2位ですから、みん
好きだし、医師を尊敬してく
れているんです。だけど一般

スーパードクター集結

医療法人メディカルビット
バレー(MBV)の理事長であ
る澁谷裕之医師は長岡市の生
まれで弘前大学医学部の出身。
元長岡赤十字病院総合診
療科副部長だ。

からすれば、ちょっと遠い存在
です。それを医師がみんな
でやるよ、という姿勢を見せ
ると、周囲が自然と押し上げ
てくれるわけですね。それを目
指しています」(同)

6人、22年春には10人の体制
になるといいます。しかも県内外
から集結してくる医師が、いわ
ゆるスーパードクターで錚々た
る面々だ。例えば有名総合病
院の部長、大学の講師やエス
級のドクター等々。中には開業
医を辞め、MBVの勤務医とな
ることを望んでやってくる医師
もいるという。

「もう受け入れられず面接を中
止している状態です」(同)

深刻な医師不足の本県に
とって、信じられない現象が起
こっている。例えば県立病院の
場合、元知事の時代に魚沼基
幹病院をスタートさせた。その
結果はどうだったのか？

少なくとも「医師の募集を
止める」というような状況では
なかったはず。市町村などでは
大学の医学部に寄付講座を設
置し、いわばその見返りに医師
を派遣してもらったような状態
が続いている。それなのに、な
ぜMBVでは、奇跡のような
状態が起きているのか？



医師や看護師らがともに使用する休憩室

「共感してしてくれる先生
とともに、ここ(エール
ホームクリニック)で小児
科、皮膚科、内科、そし
てもともとは24時間、3
65日の訪問診療をやる
つもりで開業したんです。
そしたら思ったより一緒
にやりたいという先生た
ちが出てきたんですね」
(理事長である澁谷裕之医師)

前述のように、当初は
2人だった医師が、21年4
月には新たに4人加わって

「医師は数じゃないんです。性
格がちゃんとした、やる気のあ
る医師による少数精鋭にすべ
きなんです。私たちのような
考えの医師はたくさんいるので
すが、目立たないんです。」

そんなところに、はつきりと
言ってしまう私のような存在
が出てきたものだから、やれ
るんだ、と共感を持って集まっ
てくれるんだと思います」(同)

MBVのクリニックには、医
師の世界にありがちな上意下
達のな関係がない。

「医師の世界はどうしてもヒエ
ラルキーがありますが、今の
世代はフラットな関係と申し
ますか、仲間同士で年齢の違
いがあっても役割分担をしなが
らやっていこうという人が多い
のだと思います」(同)

MBVのクリニックでは医師
や看護師、さらに医療事務も
加わって、実にフラットな関係
が築かれているという。長岡に
集まる医師の家族も、基本的
には長岡に移住する。

実現できるか!? ワクチン接種の「長岡モデル」

エールホームクリニック医師6人の挑戦

新型コロナウイルスの集団接種は主として土日に行われる。だったら主に平日、本来は個別接種を担当するクリニックが、集団接種並みにワクチン接種を行えば、全体の接種は早く終わり、高次医療機関の負担も減る。ワクチン接種をより早く終わることができれば、感染者は確実に減ることになる。こうしたワクチン接種の「長岡モデル」を実現すべく、さらに新しい地域医療の在り方を求め、本気で取り組んでいるクリニックがある。

土曜日最大400人接種

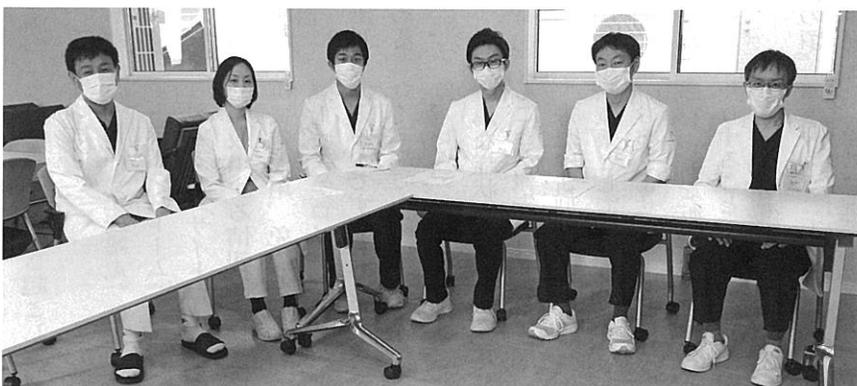
長岡市では5月22日(土)から65歳以上を対象にした新型コロナウイルスの集団接種が始まった。第1弾は同市の川東、川西地域が対象で、前者では「さいわいプラザ」が、後者では長岡中央総合病院、長岡赤十字病院が会場となっている。集団接種の第2弾は山古志を

医療機関に分かれる。このうち後者について、長岡市が示した一覧には同市内にある20の医療機関が名を連ねている。この一覧には医療機関ごとに接種開始や予約受付の開始日などが記載されているが、その中で際立った存在が、同市下柳にあるエールホームクリニックだ。

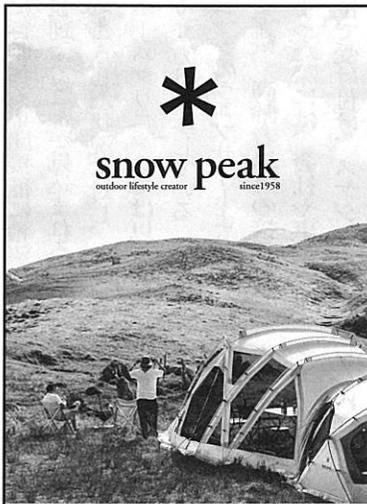
ワクチン接種の予約は3本の電話回線で平日9時から17時まで、このほかホームページから常時受け付ける。一覧表の欄外にはエールホームクリニックのワクチン接種に関する特記事項が掲載されている。主な内容は以下のよう(本誌で要約)。
・接種可能日時 月～金(祝日、年末年始除く) 9時～18時、土9時～17時 ・接種可能数 平日最大250回、土曜

日最大400回 ・医師がワクチンを接種 ・地域や町内会、団体等とりまとめた希望も受け付ける ・アナフィラキシーショック(※)等の対応のため、接種担当のほかに緊急対応の医師を配置 ・調剤薬局との協力体制を確保

(※発症後、極めて短い時間のうちに全身にあらわれるアレルギー症状で、重症の場合がアナフィラキシーショックと呼ばれる) 開業医などで行われるワクチンの個別接種の場合、日常診療の合間に実施されるのが一般的。したがって時間や接種回数も限定的となる。ところが



▲エールホームクリニックの6人医師たち



1958年、「ものづくりのまち」新潟県三条市にて創業したアウトドアメーカー。

「人と自然、そして人と人をつなぎ、人間性を回復する」ことを社会的使命とし、キャンプ用品、アパレルの開発、国内外での販売のほか、地方創生、ビジネスソリューション等、幅広い事業を展開する。

新潟県三条市、大自然の懐にキャンプ場を擁する本社「Headquarters」を構える。

コーポレートメッセージは、

人生に、野遊びを。

株式会社スノーピーク

Snow Peak Headquarters
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858

Snow Peak Operation Core HQ2
〒954-8658 新潟県見附市新幸町5-8
Tel. 0258-66-1958

Snow Peak Tokyo HQ3
〒150-0001 東京都渋谷区
神宮前1-5-8 23階
Tel. 03-6805-7738

Snow Peak HQ4
(Snow Peak USA Headquarters)
404 NW 23rd Avenue, Portland,
Oregon 97210, USA
http://www.snowpeak.co.jp

www.snowpeak.co.jp

「エールホームクリニックの場合、例えば接種可能数(平日最大250回、土曜日最大400回)と、まさに桁違いだ。長岡市で行っている集団接種の第1弾では、長岡中央総合病院、長岡赤十字病院とも接種の定員は1日当たり300人となっていた。

まさしく有事対応

エールホームクリニックの場合、まさに集団接種並みの接種体制だ。さらに(地域や町内会、団体等とりまとめた希望も受け付ける)というのも、ほとんど聞いたことがない。同クリニックのワクチン接種対応は、まさに異例かつ特異なものとなっている。

「エールホームクリニック」は昨年10月に開院。当初は2人の医師により、内科、リウマチ科の2診療科でスタートした。今年4月からは皮膚科、小児科、アレルギー科が追加され、医師がさらに4人加わって6人体制となっている。

エールホームクリニックでは新型コロナウイルスの接種について、ウェブサイトで以下のよう

に告知した。
(当クリニックでは、6月7日(月)から65歳以上の高齢者の方を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種予約を開始しました。初日から1000人を超え

る申し込みがあり、社会的関心の高さを実感することが出来ました。ワクチン接種を終えるまでには相当の時間を有することと思います。当クリニックでは平日最大250人、土曜日最大400人程度を受け入れますので、高齢者接種では、地域や町内会、団体、サークル、お茶飲み仲間などで取りまとめていただくと、少しでも効率的な運用が可能になると思います。



▲エールホームクリニックに設置されているワクチン保管用のディープフリーザー

昨日、地域で行っている高齢者サロンの皆さまから20名を超える団体さまでの予約をいただきました。こうした事例を増や

していくことが、効率的な運用につながるのだと思いますので、ぜひご協力いただける方がおりましたら、ご連絡をいただければと思います。長岡市の場合、ほぼ7月いっぱいまで高齢者への接種が終了し、8月から高齢者以外への接種が始まる見込みだ。働く世代への接種となると、どうしても土日

マイナス70度以下にもなるクリニックのディープフリーザーで、自分たちでワクチン管理して、平日1日あたり最大250人、土曜日最大400人の接種を予定しています。接種に先立ち、5月17日(月)午前10時から当クリニックのホームページで予約を開始します。その結果はどうだったのか? 5月19日付でアップされたエールホームクリニックのウェブサイトによれば以下のような(5月19日付)。

に行われる集団接種に希望者が殺到することが見込まれる。

こうした状況に対し、エールホームクリニックでは以下のような方針を示している(同クリニックのウェブサイトでより)。

〈今後、高齢者以外の接種が始まった際には、会社や事業所単位で受け付け、スケジュールリ

グを行うことで分散型の接種を進めていきたいと思えます。

このことにより、仕事に及ぼす影響を最小限にすることが私たちの願いです)

この〈分散型の接種〉がエールホームクリニックで進めるワクチン接種のキーワードになるらしい。

「コロナワクチン接種プロジェクト」始動

あたかも有事に対応するがごとく、新型コロナウイルスのワクチン接種を進めるエールホームクリニック。このクリニックを運営しているのが昨年4月に設立された医療法人メデイカルビッドバレー(MBV)だ。クリニックのドクターでもある内科医の澁谷裕之氏が理事長を務める。同氏は長岡市の生まれで弘前大学医学部の出身。元長岡赤十字病院総合診療科副部長だ。

長岡市では中心市街地の再開発事業が進行中。MBVでは、この事業で整備される「米百俵プレイス」に、「エール長岡クリニック」を開設する予定だ。

場所は北越銀行の駐車場

だった場所(C街区)で、新たに建設される5階建ての「駐車にぎわい棟」の1階部分、約2千㎡。CTやMRIなどの医療

機器や手術設備を備え、内科小児科、皮膚科の医師が連携をとって診療にあたるという。開院予定は来春とされている。

現在、エールホームクリニックには澁谷理事長も含め6人の医師がいる。「米百俵プレイス」での開業時、医師は10人

超に増えている見込みだという。今さら申し上げるまでもなく新潟県は医師不足で呻吟している。ところが同クリニ

クは当初が2人、そして現在の6人と増えて、さらに10人超となる見込みだという。まさに「奇跡」と言うしかない。

これはいったいどういうことなのか? 答えは今回のワクチン接種の中にもあるはずだ。澁谷理事長はこう言う。

「私たちの場合、もともと小児科とか皮膚科とか、アレルギー専門医の先生がいて、ワクチン接種には力を入れてやってきていたのです。そこで新型コロナウイルスの接種が始まるのに際して、新しくコロナワクチンの特別チームを作って対応してい

ます。

新型コロナウイルスの接種では、医師会が主導の集団接種

と行政が主導する個別接種があります。この個別接種において、私たちはかなりの数を受け入れることにしています」

(澁谷理事長)

そこで立ち上がったのが「コロナウイルスワクチン接種プロジェクト」だ。皮膚科の藤本篤医師がプロジェクトリーダーとなり、内科でリウマチ、アレルギー専門医の田村真麻医師、小児科医の鈴木竜太郎医師がサブリーダーを務めている。

医療リソース、フル投入

今回の新型コロナウイルス

は、まさに100年に1度のパンデミック(感染症の世界大流行)だ。今のところこの感染症に対する決定的な治療薬はない。MBVの澁谷裕之理事長

を含め、エールホームクリニックの医師らは、「新型コロナウイルス感染症の終息は、ワクチン接種事業の成否にかかっている」としている。

そこでエールホームクリニックが積極果敢に進めようとしているのが「平日分散型集団接種」だ。それがいかなるものかは後回しにするとして、現行の集団接種や個別接種には問題や課題があるという。前述のよ

うに、働く世代の接種が土日の集団接種に集中してしまう



社業を通じて地域社会へ貢献する

Dynamic Communication
アパマンショップ
新潟南店



新潟県知事(10)第2617号 公益社団法人 全国宅地建物取引業協会会員
株式会社 平松商事

公益社団法人 日本賃貸管理業協会 公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会

新潟市中央区弁天橋通3丁目1番16号
TEL (025) 286-7515 FAX (025) 286-7040

http://www.hiramatsushouji.com 平松商事 検索





▲「平日分散型集団接種」での活用が期待されるエールホームクリニック

ことが考えられる。

ワクチンの副作用は接種の当日に起こる可能性が高いという。まれにしか発症しないというアナフィラキシーも、高次医療機関で対応することになる。そのため土日への接種集中で、ただでさえ人手不足の高次医療機関の負担が増すことになりかねない。こうなると通常の医療活動に影響を及ぼす可能性も考えられる。

個別接種は小規模な医療機関で行われるわけだが、そもそもこうしたクリニックのキャパ

シティは大きくないから、1日に接種可能な人数には自ずと限界がある。まして「日常診療の合間に接種を行う」ということになる、効率的な接種は望めない。さらに接種後の待機場所を確保する必要があるし、

仮に重篤な副反応が出現した場合の対応も課題として残る。エールホームクリニックには医師6人、看護師8人、事務8人、臨床検査技師3人、運営スタッフ4人が在籍する。そのほか隣接の薬局から薬剤師2人の派遣も決まっている。同クリニックは建物や駐車場などの設備面でも比較的広いスペースが確保されている。

エールホームクリニックの場合、人的にも設備的にもほとんど集団接種と変わらない条件を満たしている。同クリニックの特徴が、医師6人がそれぞれの専門分野を生かしながら連携する「シナジー（相乗効果）診療」だ。これがワクチン接種で急な副反応が発症した際にも強みを発揮することになる。

プロジェクトリーダーである藤本篤医師は、「クリニックの全リソースを投下してワクチン接種に臨む」としている。もちろん

冒頭で紹介したエールホームクリニックによるワクチン接種は、前述のような内実を持ったものだった。同クリニックが進めようとする「分散型集団接種」とは、おおよそ以下のよう

ワクチン接種、地域医療の「長岡モデル」構築へ

「我々のクリニックでは、平日診療時間帯の個別接種に対応する他、平日昼休み時間帯や土日には、団体などを対象に広義の集団接種を行うことを検討している。具体的には、官公庁や県内企業を対象として計画的に集団接種を行いたいと考えている。土日のみならず平日にも接種機会を提供することで接種スケジュールの分散ができる。われわれの取り組み分散型集団接種と個別接種、自治体主導の集団接種とを合わせれば接種事業の大幅なスピードアッ

平日常の医療活動を継続した上でのこと。同クリニックに在籍する若手医師6人が、困難とも言える事態に立ち向かうという。

「長岡市内であれば、クリニックが昼休みの時間帯に、ほぼ市内全域から来ていただくことができると思います。当クリニックには60台分の駐車スペースがあります。事業所内の各部署で接種する計画を立てていただき、例えば部署ごとに1台の車に3人ずつ乗って来てもらえば、当クリニックで効率的、かつ安全に接種することができま

す。ワクチン接種は未来永劫に続くものではなくて、いわば終わりがありますから、そこまでは当クリニック特有のチームワークの良さを全面的に生かして頑張ろうということをやっ

ていきたい。当クリニックの全リソースをフルに活用するくらいの気概がないと、こうした困難は乗り越えられないのではないかと思います」

クリニックが全面的にワクチン接種に協力し、早期に接種を完了させる。平日にクリニックで集団接種並みにワクチンを打つことができれば、前述のように高次医療機関の負担も軽減できる。そして何より早期にワクチン接種が完了すれば、それだけ感染者の数は減る。「ワクチン接種でいろんな医療機関の先生方と情報を共有することによって、新しい医療が始まります。医療はみんなのものですから、そこからいろんなことが始まっていきます。そうしたことが新型コロナウイルスの教訓になるのではないのでしょうか」（同）

新型コロナウイルスのワクチン接種によって、地域医療の新しいスタイル、あるいは医療機関同士の新しい連携が生まれるかもしれない。こうした地域医療や連携が「長岡スタイル」と呼ばれる日は案外近そうだ。